

別記第3号様式

平成15年度事後評価調査

機関名 アイヌ民族文化研究センター

整理番号	2	研究課題名	厚別川流域におけるアイヌ口承文芸の調査研究					
事業区分	重点領域・一般試験等 一般試験	研究区分	研究	試験	調査	分析	研究期間	6年度～14年度
共同研究機関 (協力機関)						全 所 要 額 (千円)	(一財 1,579 1,579)	
<b>研究の概要</b>								
<p><b>研究背景</b> 門別町東部の厚別川流域は、アイヌ語の方言の中でも沙流方言(門別町西部と平取町)と静内方言を話す地域間に位置し、口承文芸の内容やアイヌ語の方言差を比較する上で重要な地域である。しかし、研究に必要な基礎資料が非常に少ないため、現地においての資料収集を早急に行う必要があった。</p> <p><b>研究目的</b> 厚別川流域のアイヌ口承文芸を収集し、これらを研究の基礎資料として整備するとともにこの地域の口承文芸やアイヌ語の特徴を明らかにする。</p> <p><b>研究内容</b> この地域における既存の資料が少ないので、伝承者に対する聴き取り調査を行い、口承文芸や基礎語彙のデータを収集した。これらのデータについて順次翻訳と分析を進め、口承文芸の内容や語彙の特徴等について検討した。</p> <p><b>研究実績</b> ・採録資料42点(口承文芸10編、歌謡16曲、基礎語彙200語等を収録) ・口承文芸10編の対訳テキストを作成</p>								
							直近の研究課題評価結果 平成13年度 中間評価 【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C	
<b>研究の成果</b>								
<p>具体的な成果及び研究目標の達成度 ・資料の収集では、他の地域と異なるものやこれまでにあまり採録されなかった例の少ない口承文芸など基礎資料として貴重なデータを得ることができた。 ・口承文芸10編のテキストは、翻訳と解説を付けた。 ・口承文芸の特徴と他地域との比較分析を行った。</p> <p>研究期間・経費の妥当性 期間・経費は妥当であった。</p> <p>他機関との連携 (社)北海道ウタリ協会門別支部の協力を得た。</p> <p>新たな展開へ向けた課題 ・方言差の比較などに必要な基礎資料を収集できたことから、今後は、厚別川流域におけるアイヌ語基礎語彙の地域差を明らかにすることが可能である。 ・今回の調査により収集した資料のほか、この地域の関係資料の所在調査を進め、データの充実を図る必要がある。</p>								
							目標の達成度 a・b・c	
							期間の妥当性 a・b・c	
							経費の妥当性 a・b・c	
							成果の有益性 a・b・c	
<b>成果の活用策</b>								
<p>活用される分野 ・収集・整理したデータは、口承文芸の他に歌謡や信仰儀礼等の研究資料となる。 ・同地域のアイヌ文化の学習・伝承のための基礎資料となる。</p> <p>具体的な活用方策 ・資料の一般提供、語彙集の作成のほか、収集した情報を情報より利用しやすい形で提供する。 ・信仰に関わる体験談や植物利用に関する記録は、地域の生活史の基礎資料として活用が見込まれる。</p> <p>成果の普及 ・調査報告として「松島トミの伝承」1～5を『研究紀要』1、6～9号に掲載 ・資料紹介として「オンネバツクルのアイヌ語原文資料」を『研究紀要』2号に掲載 ・研究発表として「アイヌの口承文芸・オンネバツクルについて」を日本口承文芸学会第19回大会で発表 ・論文として「オンネバツクル」についてを『口承文芸研究』に掲載</p>								
							活用の可能性 a・b・c	
【自己評価】	【意見】							
A・B・C	<p>これまであまり明らかにされてこなかった厚別川流域の口承文芸やアイヌ語の基礎資料などのデータを得ることができた当課題は、今後口承文芸の地域差など、さらに具体的な研究に大きく寄与することができる貴重な研究であった。</p> <p>(追跡評価の必要性 有・無)</p>							
【総合評価】	【意見】							
A・B・C	<p>厚別川流域におけるアイヌ口承文芸について基礎資料を収集し、地域におけるデータを活用し今後の研究に展開させるための十分な研究成果が得られた。 今後は、基礎語彙などの地域差を検証するなど新たな研究展開が必要であり、成果の具体的な活用のためには、その展開を踏まえてからのため、追跡評価は行わない。</p> <p>(追跡評価の必要性 有・無)</p>							

(A) 目標を達成し、十分な研究成果が得られている  
(B) 目標を概ね達成し、一定の研究成果が得られている  
(C) 目標の達成度が低く、十分な研究成果が得られていない

(a) 極めて高い、適切である  
(b) 高い、概ね適切である  
(c) 低い、改善の余地がある